

会 議 録

1 会議名

令和3年度第6回柿崎区地域協議会

2 議題(公開・非公開の別)

(1) 諮問事項 (公開)

- ・上越市過疎地域持続的発展計画(案)について

(2) 報告事項 (公開)

- ・補助金額の減額採択に伴う地域活動支援事業の修正について
- ・地域活動支援事業の変更申請について
- ・柿崎区地域協議会各種委員会からの活動報告その他(公開)

(3) その他 (公開)

3 開催日時

令和3年8月17日(火) 午後6時から午後7時15分まで

4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ3階 305～307 会議室

5 傍聴人の数

3人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者(傍聴人を除く) 氏名(敬称略)

- ・委員：吉井一寛(会長)、白井一夫(副会長)、貝谷雅子、片桐宏樹、片桐充、小出祥世、小山慶、武田正教、中村誠、箕輪明男、蓑輪和彦、吉村正
- ・自治・地域振興課：廣川副課長、岡村係長
- ・事務局：柿崎区総合事務所 市川所長、柿村次長、小林次長、滝澤産業グループ長、池田市民生活・福祉グループ長、小林教育・文化グループ長、熊木地域振興班長、大場主査

8 発言の内容（要旨）

【柿村次長】

- ・地域協議会の開会を宣言。
- ・岩野秀樹委員、薄波清美委員の欠席を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明。

【吉井会長】

- ・会長挨拶。
- ・会議録署名委員に片桐充委員を指名。
- ・諮問事項の上越市過疎地域持続的発展計画（案）についての説明を自治・地域振興課へ依頼。

【廣川副課長】

- ・資料1により、上越市過疎地域持続的発展計画（案）について説明。

【吉井会長】

- ・諮問事項について、何か質問はあるか。

【蓑輪委員】

- ・移住・定住については「上越市ふるさと暮らしセンター」において、情報発信や相談対応等を一括で行っているため、町内会や商工会にも移住相談が来ていることから、情報共有等連携をしながら進めてほしい。

【廣川副課長】

- ・町内会や商工会とも連携して進めていく。

【吉井会長】

- ・他に質問はあるか。
- ・無いようであれば、私から、総合計画と過疎計画の関係性は。

【廣川副課長】

- ・自治基本条例に基づく市の最上位計画である総合計画の下に、交通、道路、教育など、各分野の計画がぶらさがっているが、その各計画を分野横断的に横の

軸で位置付けられているのが過疎計画である。

【吉井会長】

- ・過疎計画のメリットとデメリットは。

【廣川副課長】

- ・メリットは有利な財源等を活用できるところにある。デメリットについては基本的にはないが、過疎という名称をイメージ的に嫌がる方がいるかもしれない。

【吉井会長】

- ・過疎地域になる要件等あるが、今計画から過疎地域でなくなったところはあるか。

【廣川副課長】

- ・柏崎市が財政力要件で今回の計画から外れた。当市については、この先、10年は過疎地域として有利な財源等を活用できるが、その後は分からない。

【吉井会長】

- ・基本目標について、人口目標は非常に厳しいと思うがどうか。

【廣川副課長】

- ・目標値については、平成29年に市が作成している人口・世帯に関する基礎データを参考としており、令和2年の人口推計値の基礎データと令和2年国勢調査速報値と比較すると534人下振れしていることから、今後も過疎地域の持続的発展に資する移住・定住・地域間交流の促進や産業の振興、地域文化の振興などの総合的な取組を実施し、目標に設定した推計値以上を目指すことが必要である。

【吉井会長】

- ・他に質問はないか。他になければ、諮問事項について終了する。
(自治・地域振興課退出)

【吉井会長】

- ・答申のまとめ方について、何か意見はないか。
- ・事務局から各委員へ質問票を配布し、質問がある場合は、質問票を8月27日までに事務局へ提出し、それを自治・地域振興課から9月3日までに回答してもらい、9月6日の正副会長会議でどのような形で答申するかを決め、9月13日の地域協議会で委員のみなさんにお示しするという形にしたい。また、各委員

からの質問に対する回答は、地域協議会の案内と一緒に委員のみなさんに送付することとしたい。

- ・みなさんよろしいか。

(「はい」の声)

- ・その様に進めることとする。次に5報告事項、(1)補助金額の減額採択に伴う地域活動支援事業の修正について事務局から説明をお願いする。

【熊木班長】

- ・先月開催の第5回地域協議会において、地域活動支援事業の追加募集分5事業を審査し、すべての事業を採択していただいた。
- ・しかし、5事業の補助希望額を満額で採択した場合、柿崎区の補助金配分額を超過してしまうことから、共通審査基準の評点が最も低い柿崎JVC提案の「バレーボール普及活動事業」については、補助希望額301千円を額減し、補助金額89千円で採択していただいた。
- ・補助金の減額に伴い、柿崎JVCは事業内容を検討し、物品購入をユニホームパンツ12枚、ユニホーム長袖12枚、マーク加工のみの102,960円に減額し、事業費311千円を155千円に、補助金301千円を89千円、自己資金10千円を66千円とする修正があった。なお、加盟料、保険料、大会参加費は自己負担することとしている。
- ・今回の事業内容の修正については、補助金額の減額採択に伴う事業の修正であり、事業目的等の変更がないことから、委員の皆さまへは協議ではなく報告とさせていただいた。

【吉井会長】

- ・次に報告事項、(2)地域活動支援事業の変更申請について事務局から説明をお願いする。

【熊木班長】

- ・「黒川・黒岩ふれあい事業」の16ピースから事業変更承認申請があったため、説明する。
- ・今回の変更は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、夜店及びステージイベントを中止し、花火打ち上げを増加するものである。また、事業内容の変更に伴い、関連する事業費を変更するものである。

- ・事業内容が変更となるものの、事業費の変更が小さく、補助金額の変更がなく、事業目的等に影響を及ぼすことがないことから、委員の皆さまへは協議ではなく報告とさせていただいた。

【吉井会長】

- ・次に(3)柿崎区地域協議会各種委員からの活動報告について、地域の交通を考える会の武田委員長からお願いしたい。

【武田委員長】

- ・7月27日に柿崎区地域協議会吉井会長から柿崎まちづくり振興会小池会長へ柿崎区におけるバス路線廃止に伴う代替え交通に関する件について文書を手渡し、今後の代替交通の運用について、柿崎まちづくり振興会へ検討を依頼した旨を報告。

【吉井会長】

- ・次に柿崎空き家活かそうプロジェクトの蓑輪委員長からお願いしたい。

【蓑輪委員長】

- ・交流、情報発信の拠点及び運営する組織、人が必要であることから、今後の検討事項とすることを説明。また、地域の皆さんが地域振興のため、空き家を活用して事業を運営している先進地を視察し、柿崎区に合った活用方法を検討したい旨を説明。

【吉井会長】

- ・報告事項について終了する。
- ・6その他に入る。
- ・(1)次回地域協議会の開催は9月13日(月)午後6時から同じ場所である。
- ・(2)その他に移るがみなさんから何かないか。

【小出委員】

- ・上越地区における広域最終処分場の整備に向けた候補地選定について何か情報はあるか。

【柿村次長】

- ・県から候補地選定のその後の動きは示されていない。県へ確認し、次回に状況を報告したい。

【吉井会長】

- ・ 県へ確認し、報告をお願いする。
- ・ 他にあるか。
- ・ 他に何かなければこれで終了する。

【白井副会長】

- ・ 地域協議会の閉会を宣言。

(午後7時15分閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL : 025-536-6701 (直通)

E-mail : kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。